

(学校番号6) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【本太小学校】

4月25日			
目標・策			
知識・技能	令和4年度さいたま市学習状況調査において、全ての学年でさいたま市平均を3pt上回る。	⇒	令和4年度全国学力・学習状況調査の振り返りから、本校児童の課題を分析し、指導改善に役立てる。 ドリルパークおよびスタディ・サプリを活用し、知識・技能の反復・習熟学習を行う。学期末に学習履歴を確認することで、それぞれが自分の課題を把握できるようにし、長期休みに重点的に反復・習熟に取り組めるようにする。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査【生活習慣に関する調査】における「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の質問項目で肯定的な回答の割合を令和3年度の値より0.4pt向上させる。	⇒	「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」6つの学習プロセスについて理解し、深い学びを導く学習過程による学習活動を展開できるようにする。学期ごとに各学級の課題を把握・分析することによって改善を図り、目標とする値を確実に達成できるようにしていく。
主体的に学習に取り組む態度	「『よい授業』アンケート」④「児童生徒の活動」4「今日の学習のまとめを、自分たちで考える」の質問項目で平均値を令和3年度3学期の値から0.2pt向上させる。	⇒	「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」6つの学習プロセスについて理解し、深い学びを導く学習過程による学習活動を展開できるようにする。学期ごとに各学級の課題を把握・分析することによって改善を図り、目標とする値を確実に達成できるようにしていく。

9月1日			
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
知識・技能	変更なし	⇒	
思考・判断・表現	変更なし	⇒	
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒	

78	
全国学力・学習状況調査結果・分析	
<p>「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」という各分類において、全国平均を上回った。このことから、本校の学習状況は良好といえる。一方で、無解答率の高さが課題として挙げられる。特に国語では、条件に合わせて記述する問題について無解答率が高く、複数条件に合わせて自分の考えをまとめ文章で記述する問題に出会うと、「書くことができない」もしくは「解答を避ける」傾向が見られることが分かる。また、問題の後半になると無解答率が上がることから、記述問題で聞いた結果、時間が足りなくなってしまう最後まで解答することができなかった児童がいることが考えられる。理科では、短答式の問題や「知識・技能」を問う問題の正答率が低いことが分かった。学年、単元を越えて既習の「知識・技能」を活用していく授業展開が必要である。</p> <p>児童質問紙では、概ねどの質問項目でも肯定的な回答をする児童の割合が全国平均より高いが、(9)「将来の夢や目標を持っている」では、肯定的な回答をした児童が全国平均より低い結果であった。</p> <p>上記より、「自らの学習を調整し、粘り強く取り組む力の向上」「文章による表現力の向上」「理科における知識・技能の活用」「キャリア教育の充実」を重点的に行うことで、更なる学力向上を目指すと同時に、4月25日設定の本年度の目標を達成できるようにしていく。</p>	

2月〇〇日			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

2月〇〇日	
成果指標に対する達成状況	
	評価(※)
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価  
 A 8割以上(達成)      C 4割以上(あと一歩)  
 B 6割以上(概ね達成)      D 4割未満(不十分)